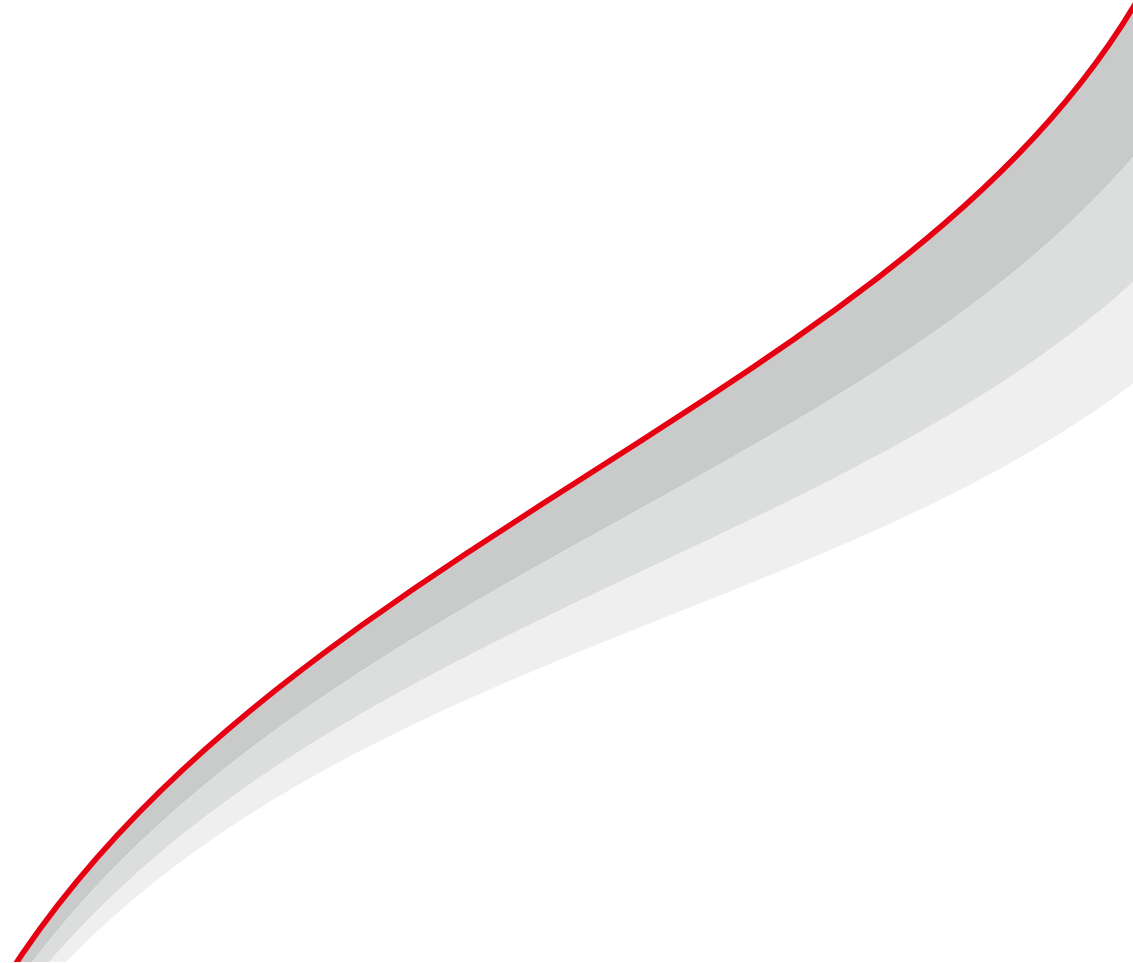


# Tescan社の買収について

2025年12月25日



# Tescan社買収のエグゼクティブ・サマリー

## I 分析計測機器市場の中で高い成長が期待される電子顕微鏡の事業基盤を獲得

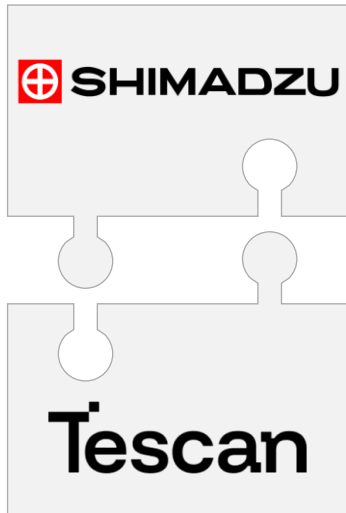
- 分析計測機器市場の中で電子顕微鏡は高い成長が期待される（2024-29 年平均成長率：5.4%）
- Tescan社は電子顕微鏡（SEM、FIB-SEM及びTEM）をコアとする分析計測機器メーカー
- Tescan社の買収により、当社分析計測事業のミッシングピースである電子顕微鏡領域で強固な事業基盤を獲得

## II Tescan社は当社の成長性・収益性に貢献するプラットフォーム

- Tescan社は市場成長を上回る高い成長率（2022年度-2025年度予想売上高成長率：13.5%）
- 高い利益率を誇り、当社収益性に貢献（2025年度予想EBITDAマージン：20.9%）
- 卓越した技術・開発力を持ち、顧客ニーズへの対応力も高評価
- 半導体領域に不可欠な故障解析技術を幅広く保有し、高い成長ポテンシャルを備える

## III 提供ソリューション・地域・製造販売各面での相乗効果も見込まれる

- 当社が目指す”トータルソリューションの提供企業”への変革に寄与する買収
- 提供ソリューション・地域補完・製造販売各面での相乗効果による価値創造



# 本件取引概要

- 欧州を本拠に電子顕微鏡市場で高成長を誇るTescan社の買収\*1
- 取得価額は678百万ドル\*2（1,058億円\*3）を予定
  - ✓ 手元資金及び外部借入等により充当する予定で、株式の希薄化は想定しない
  - ✓ のれん影響については現在精査中であり、詳細確定後に開示を予定
- スケジュール
  - ✓ 2025年12月25日：本件の公表
  - ✓ 2026年前半：株式譲渡実行（予定）
  - ✓ 将来的にIFRS基準への移行を検討中
- 本件に伴う当社の2026年3月期の連結業績予想に与える影響については現在精査中であり、今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示予定

\*1：本件の買収対象はカーライルの特別目的会社であり、Tescan社株式を全て保有するGlass HoldCo s.r.o.です

\*2：最終的な取得金額は、株式譲渡契約書に定める価格調整によって変動する可能性があります

\*3：1米ドル＝156円にて邦貨換算しております

# Tescan社の概要

## Tescan社概要

会社名	Tescan Group a.s.
設立	1991年
CEO	Jean-Charles Chen
本社所在地	チェコ共和国・ブルノ
従業員	898名
製造・研究拠点	欧州3か所、北米2か所
営業所所在国	11か国（代理店所在国：50か国）
事業概要	電子顕微鏡をコアとする分析計測機器メーカー
主要取扱製品	<div><div><div>1. SEM（走査型電子顕微鏡）</div><div>・ナノ領域の表面分析が可能</div></div><div><div>2. FIB-SEM（収束イオンビームSEM）</div><div>・ナノスケールでの加工・断面作成</div></div><div><div>3. TEM（透過型電子顕微鏡）</div><div>・原子レベルでのマルチモーダル分析</div></div><div><div>4. マイクロCT</div><div>・非破壊での三次元内部観察</div></div><div><div>5. レーザー加工</div><div>・半導体の故障解析に使用する ナノスケールでのレーザー加工</div></div></div>



## 当社との協業の歴史

2024年7月

業務提携契約を締結

2025年2月

共同ブランド製品として  
SEM「SUPERSCAN SS-4000」の  
日本販売開始

2025年4月

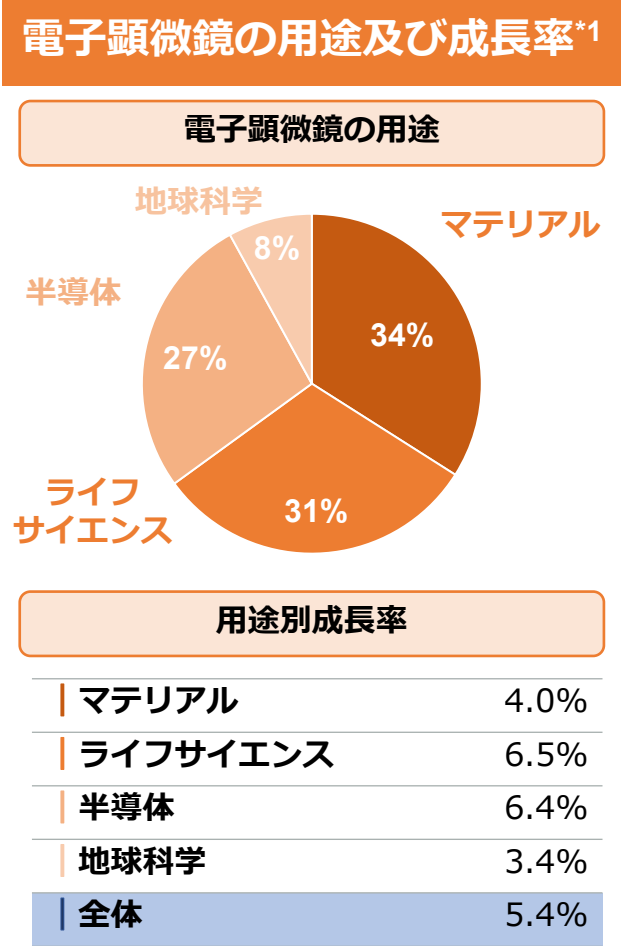
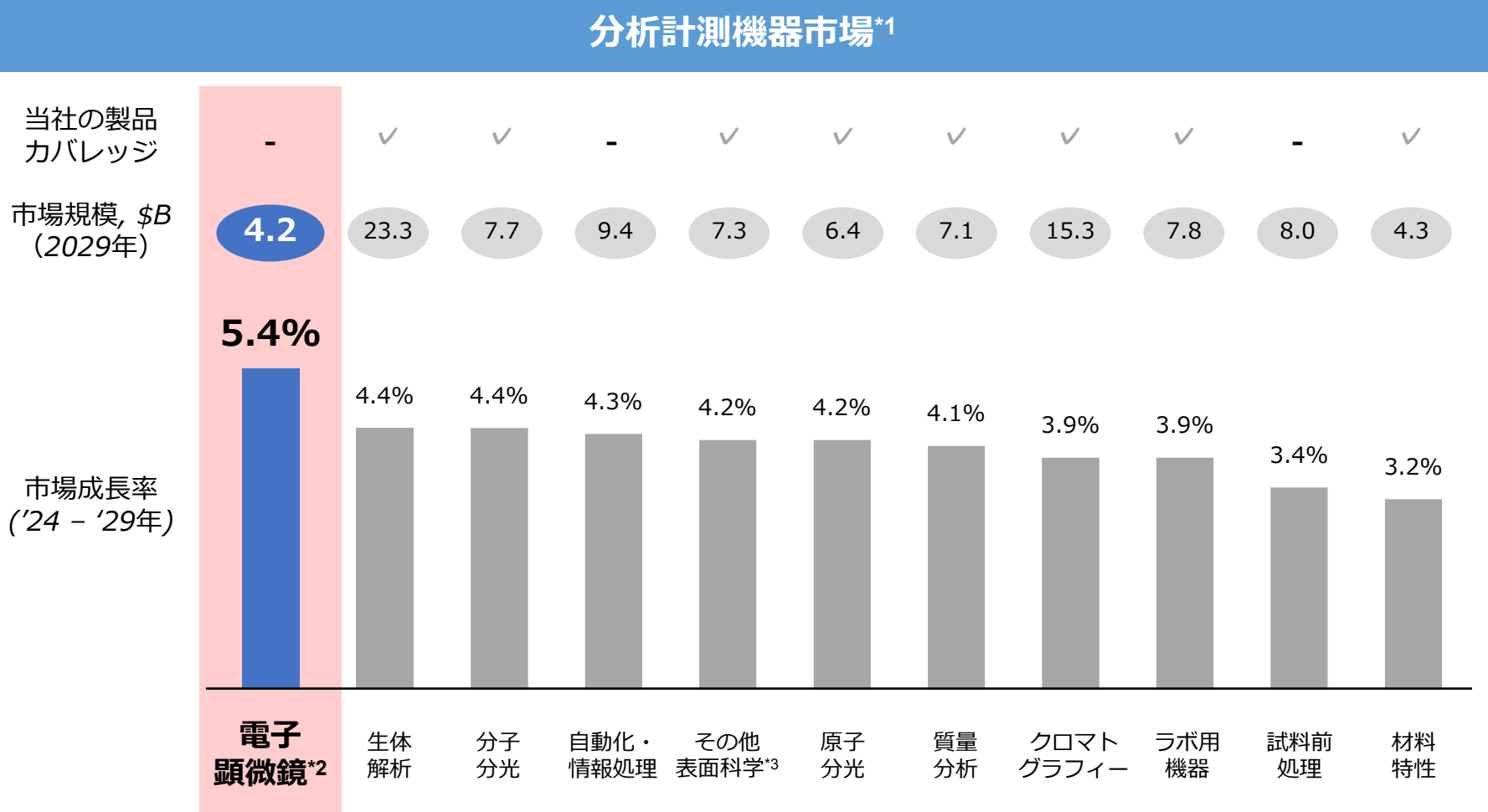
同「SUPERSCAN SS-3000」の  
日本販売開始

2025年6月

同「SUPERSCAN SS-2000」の  
日本販売開始

# 分析計測機器市場の中で高い成長性が期待される電子顕微鏡

- ✓ 電子顕微鏡は分析計測機器市場の中でも高成長が見込まれている
- ✓ 電子顕微鏡は微細構造を高分解能で観察可能であり、ライフサイエンス・マテリアル・半導体など、様々な分野で使用される



# 当社の成長性・収益性に貢献するプラットフォーム

## 売上高

売上高  
(2025年度予想)

**USD 191M**

売上高成長率  
(‘22 - ‘25 年度予想)

**13.5%**

## EBITDA

EBITDAマージン  
(2025年度予想)

**20.9%**

EBITDA成長率  
(‘22 - ‘25 年度予想)

**23.2%**

Point

## 01 卓越した技術力、開発力

- ・ 世界有数の電子顕微鏡産業・研究拠点であるチェコ・ブルノで長期間に亘って培われた高水準な技術力
- ・ 高い開発力を背景に、2022年、2023年、2025年とR&D100<sup>\*1</sup>を受賞

Point

## 02 柔軟なカスタマイズ性

- ・ 高い技術力を活かし、顧客ニーズに細やかに対応
- ・ 電子顕微鏡領域においては、必要な観察モードやオプション等が分野ごとに異なるため、個々の顧客ニーズへの対応力が重視される傾向

Point

## 03 半導体領域に不可欠な故障解析技術

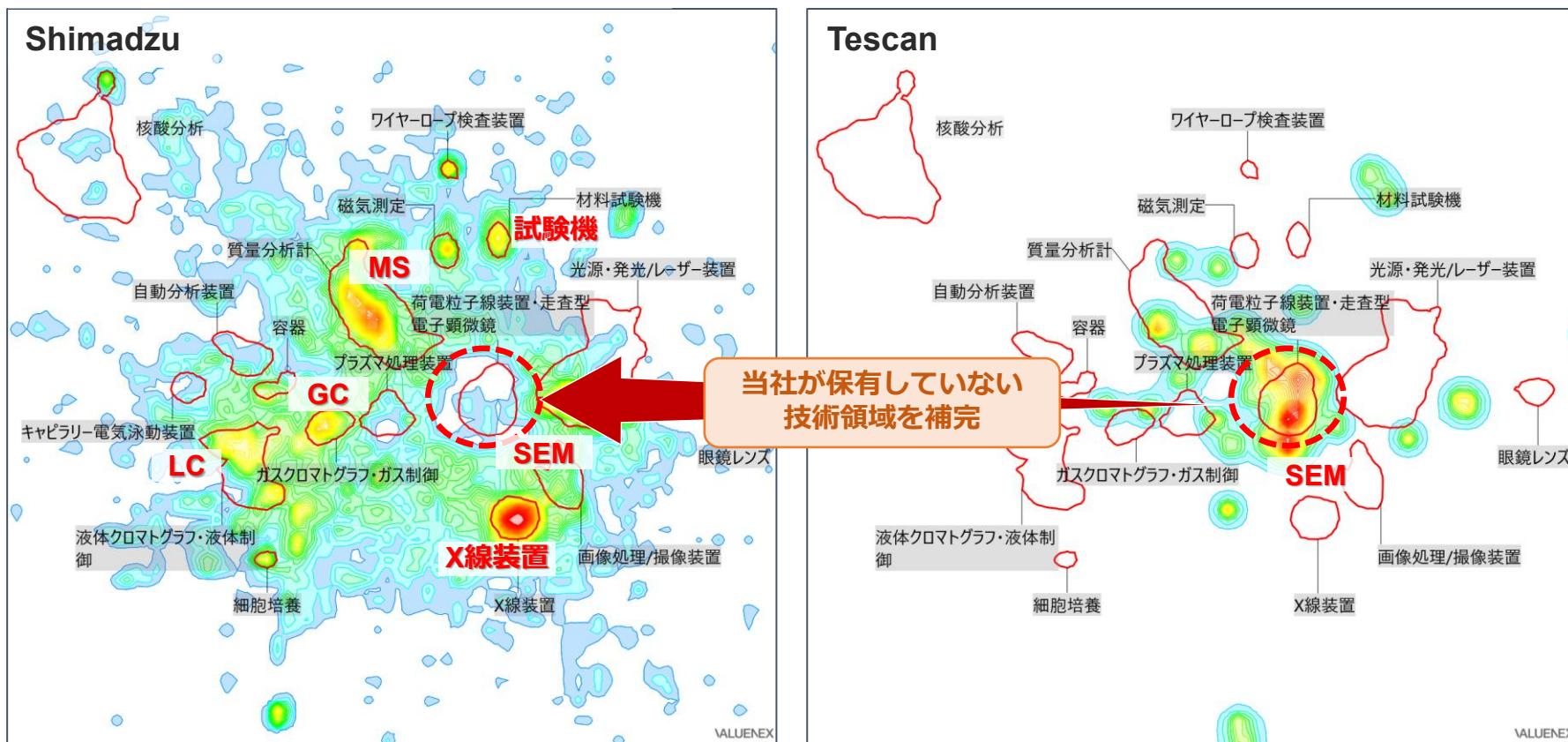
- ・ SEM、FIB-SEM、TEM、レーザー加工、マイクロCT等の故障解析用検査機器を取り揃え、半導体領域に不可欠な幅広い技術を保有



# 当社とTescan社の技術的補完性

- ✓ 分析装置各社から出願されている特許の技術領域を俯瞰図として可視化
- ✓ 当社とTescan社の技術領域は高い補完性を有しており、両社技術の組み合わせがシームレスな価値提供に繋がる

## 両社特許データのマッピング\*1



- 特許データやその他の指標を用いて各社の事業領域を分析して可視化
- 当社は分析機器全般にわたって高い技術力を有している一方で、電子顕微鏡は空白領域
- Tescan社は同領域において非常に高い技術力を有しており、**Tescan社との統合は当社のホワイトスペースを補完し、包括的な分析機器技術の獲得に寄与**

# 提供ソリューション・販売・製造各面での相乗効果も見込まれる



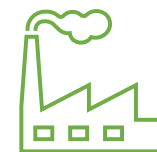
## トータルソリューションの 高度化

- ✓ 当社が持つ分析計測機器との融合によるワンストップでのソリューション提供の高度化



## 地域・顧客補完性

- ✓ 当社が圧倒的なプレゼンスを持つアジアを中心としたTescan社製品の拡販加速
- ✓ Tescan社が基盤を持つ欧米市場における当社のプレゼンス拡大



## 製造・営業・サービスの 効率化

- ✓ 当社でTescan社製品を製造することによる収益性の向上
- ✓ 両社の営業・サービスネットワーク連携による効率化



